

オールインワンインストーラー サイレントインストール手順書 **[ESET Security Management Center]**





【第5版】 2021年2月



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

1 目次



目次

- 1. 目次
- 2. はじめに(本資料について)
- 3. インストーラーの作成
- 4. インストーラーのダウンロード
- 5. フォルダの作成
- 6. インストーラーの実行
- 7. 注意事項について



はじめに(本資料について)



- ○本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。
- ○本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に問わず、禁じます。
- ○ESET、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET PROTECTは、ESET,spol. s. r. o.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Macは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

2 はじめに(本資料について)



はじめに

本資料は、ESET Security Management Center で作成したオールインワンインストーラー (セキュリティ製品+エージェント または エージェントのみ)を使用し、クライアントPCで インストールからアクティベーションの実施までをサイレントで実施する手順についてまと めた資料です。

本資料で想定している環境については以下のとおりです。

環境 The state of the state of t	
管理サーバー	【OS】Windows Server 2019 【プログラム】・ESET Security Management Center V7.X
クライアントPC	【OS】Windows 10 Pro 【プログラム】・ESET Endpoint Security V6.6 / V7.X / V8.0 または、 ESET Endpoint アンチウイルス V6.6 / V7.X / V8.0 ・EMエージェント V7.X

クライアント管理プログラム「ESET Security Management Center (ESMC) 」は すでに構築されていることが前提となっております。

また、本画面はESET Security Management Center V7.2で取得しております。



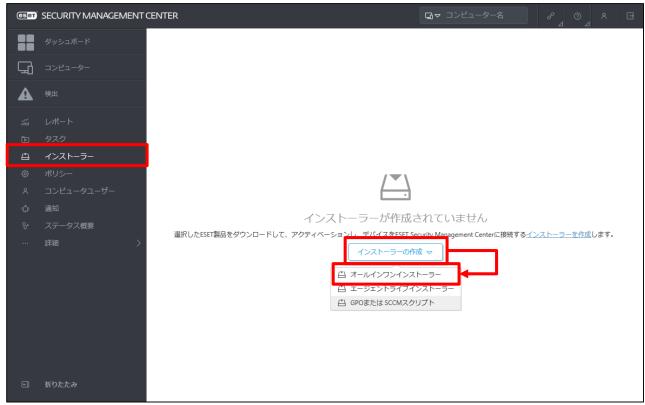


インストーラーの新規作成

管理サーバーでの作業(ESMC)

ESMCを開きます。

「インストーラー]セクションより、「インストーラーの作成]→ [オールインワンインストーラー]を選択し、新規のインストーラーを作成します。



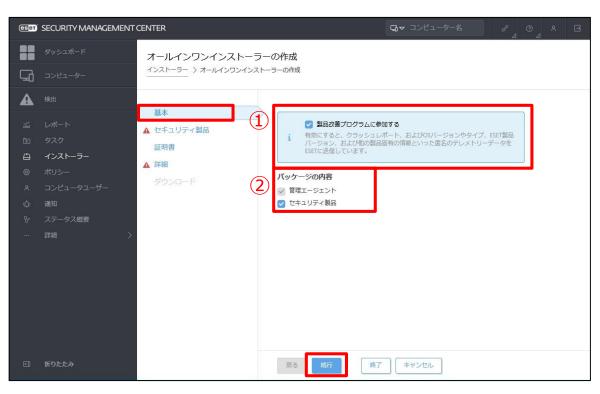




パッケージの選択

管理サーバーでの作業(ESMC)

[基本]の項目に遷移します。必要項目を入力し、[続行]をクリックします。



- ① 「製品改善プログラムに参加する] にチェックを入れます。
- ②「パッケージの内容] から、 「セキュリティ製品」にチェック を入れます。

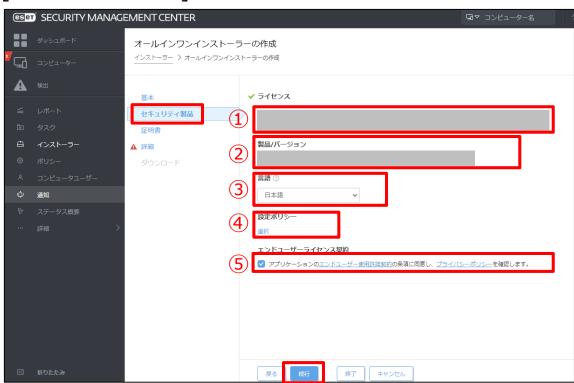




セキュリティ製品の設定

管理サーバーでの作業(ESMC)

[セキュリティ製品]の項目に遷移し、必須項目を選択し、[続行]をクリックします。



①[ライセンス]を選択します。

- ※既定で選択されます。
- ※ライセンスを選択していない場合、インス トール時にアクティベーションを求められ ますので、必ず選択しておきます。
- ②[製品バージョン]で、インストールする製 品とバージョンを選択します。
- ③[言語]で、「日本語」を選択します。
- ④[設定ポリシー]でクライアントプログラム にポリシーを組み込みたい場合、ポリシー を選択します。
- ※クライアントとインターネット間の通信で、 HTTPプロキシを経由する場合は、別途ポ リシーを組み込む必要があります。
- ⑤「アプリケーションのエンドユーザー使用 許諾契約の条項に同意し、プライバシーポ リシーを確認します。」にチェックを入れ ます。

<参考>ESET Security Management Center V7 を利用して、新しいポリシーを作成する手順

https://eset-support.canon-its.jp/fag/show/11854?site domain=business

【HTTPプロキシ経由設定個所】

製品にて[ESET Endpoint for Windows]を選択します。[ツール]の[プロキシサーバー]より入力してください。

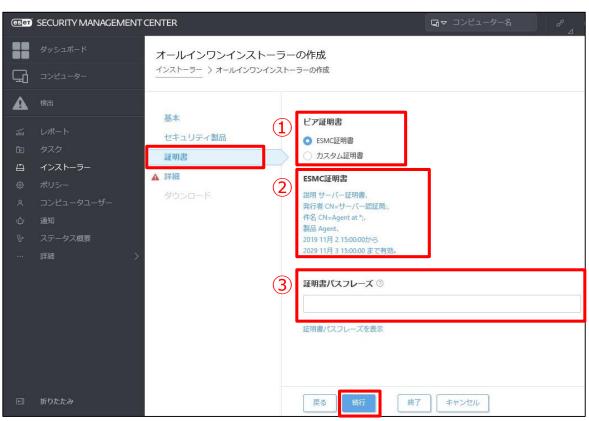




証明書の設定

管理サーバーでの作業(ESMC)

[証明書]の項目に遷移します。必要事項を選択し、[続行]をクリックします。



- ①[ピア証明書]では、「ESMC証明書」か「カスタ ム証明書しのどちらかを選択します。
- ※本資料では、ESMC証明書を選択しています。
- ②[ESMC証明書]にて、証明書を選択します。
- ※既定で選択されます。
- ③証明書にパスフレーズを設定している場合は、 入力します。





詳細画面

管理サーバーでの作業(ESMC)

[詳細]の項目に遷移します。必要事項を入力し下にスクロールします。



- ①[名前]を入力します。
- ②[説明]は任意で入力します。
- ③[タグ] は任意で設定します。
- ※タグにて、キーワードを設定すると、検索 に利用できます。
- ④「親グループ(任意)」は任意で設定します。
- ※親グループを指定すると、インストール後 に指定したグループに端末が所属します。
- ⑤[ESET AV Removerを有効にする]に

チェックが入っていないことを確認します。

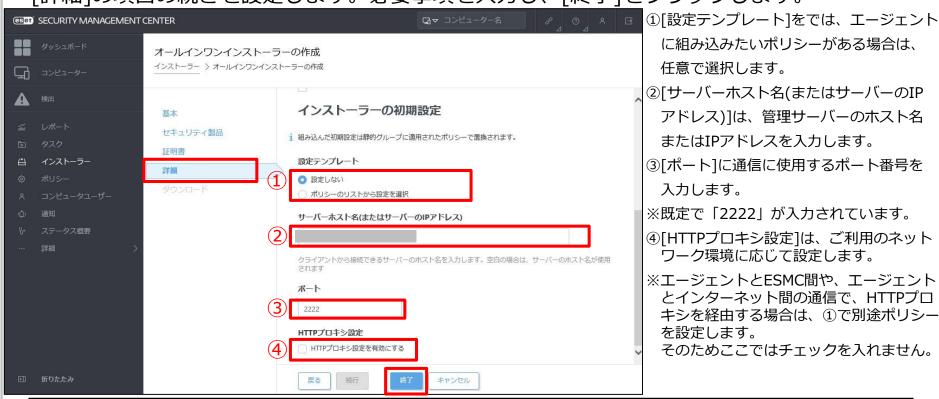




詳細画面

管理サーバーでの作業(ESMC)

「詳細]の項目の続きを設定します。必要事項を入力し、[終了]をクリックします。



- に組み込みたいポリシーがある場合は、
- ②「サーバーホスト名(またはサーバーのIP アドレス)]は、管理サーバーのホスト名 またはIPアドレスを入力します。
- ③[ポート]に通信に使用するポート番号を
- ※既定で「2222」が入力されています。
- ④[HTTPプロキシ設定]は、ご利用のネット ワーク環境に応じて設定します。
- ※エージェントとESMC間や、エージェント とインターネット間の通信で、HTTPプロ キシを経由する場合は、①で別途ポリシー
 - そのためここではチェックを入れません。

<参考>ESET Security Management Center V7 を利用して、新しいポリシーを作成する手順

https://eset-support.canon-its.ip/fag/show/11854?site_domain=business

【HTTPプロキシ経由設定個所】

製品にて[ESET Management Agent]を選択します。[詳細設定]-[HTTPプロキシ]-[グローバルプロキシ]を編集し、値を入力してください。



4 インストーラーのダウンロード

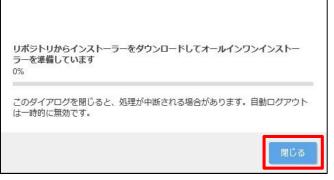


ダウンロード

管理サーバーでの作業(ESMC)

正常にインストーラーの作成が完了しましたら、[ダウンロード]の項目に遷移できます。 クライアント環境に合わせたインストーラーをクリックし、ダウンロードを開始します。





ダウンロードのダイアログが表示されます。 「完了」と表示されましたら、 [閉じる]でダイアログを閉じます。

以上で、オールインワンインストーラーの作成は完了です。

5 フォルダの作成



「バッチファイル」の作成

管理サーバーでの作業(ESMC)

インストールをサイレントで実施するために、バッチファイルを作成します。

- ・仟意の場所にインストーラー用のフォルダを新規作成します。 (例) フォルダ名:install setup
- ・メモ帳を新規作成し、以下のコマンドを入力します。

C:\forall setup\forall ESMC Installer \times 64 \ ja \ JP.exe --silent --accepteula

C:\finstall setup\fi

→保存する場所(フォルダ名は任意の名前をつけてください)

ESMC_Installer_x64_ja_JP.exe

- →ESMCで作成したインストーラーの名前
- --silent
 - →プログラムをサイレント(自動)モードで実行させる
- --accepteula
 - →利用規約に同意する

5 フォルダの作成



「バッチファイル」の作成

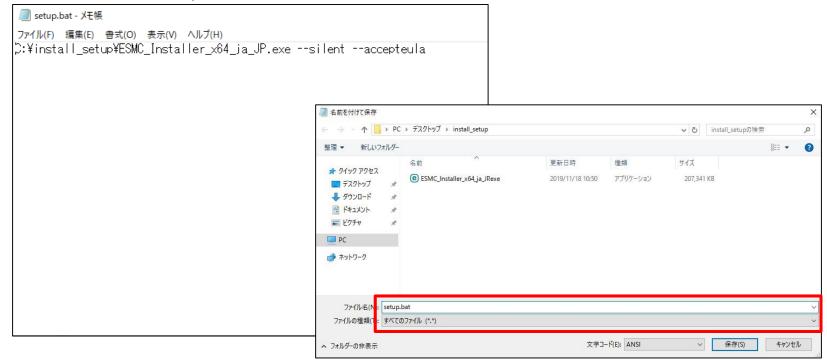
管理サーバーでの作業(ESMC)

「ファイル]から「名前を付けて保存」を選びます。

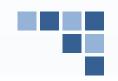
ファイルの種類のプルダウンから「すべてのファイル(*.*)」を選び、

任意の名前を付け、バッチファイル形式(.bat)で保存します。

(例) ファイル名: setup.bat



5 フォルダの作成



フォルダの作成

管理サーバーでの作業(ESMC)

手順4(p.11)でダウンロードしたオールインワンインストーラーと 手順5(p.13)作成したバッチファイルをインストーラー用のフォルダへ保存します。



作成したファイルがバッチファイルとして保存されていることを確認してください。

・フォルダをクライアントPCへ配布します。

※管理サーバーでの作業はここまでとなります。

6 インストーラーの実行

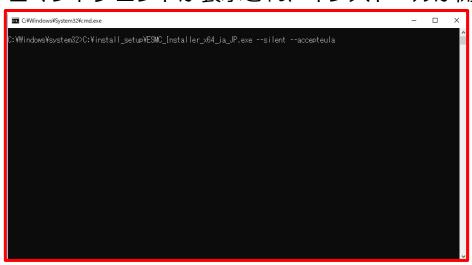


ここからの手順は、実際にインストールを実行するクライアントPCで作業します。

インストール

クライアントPCでの作業

- ・配布されたインストーラー用のフォルダを、クライアントPCのCドライブ直下へフォルダごとコピーします。
- ・コピーしたフォルダを開き、バッチファイルを右クリックします。
- ・「管理者として実行」をクリックし、インストールを実行します。
- ・コマンドプロントが表示され、インストールが開始します。



※インストール中はコマンドプロンプト を閉じないでください。最小化は、問題ございません。

・コマンドプロンプトが消えたら、インストール完了です。

6 インストーラーの実行



インストール

クライアントPCでの作業

インストール完了後、ESETのGUIを起動し、 以下の項目が確認できたらインストールは完了です。

- ①アクティベーションに成功している
- ②初回の検出エンジンのアップデートが実施されている
- ③ESMC上でクライアントPCが管理されている

アクティベーションがされていない場合、以下のようにアラートが出ます。



※ 本画面は、ESET Endpoint Security V8.0のものです。



注意事項について



本資料の手順でサイレントインストールを行う際は、以下の注意事項にご注意ください。

注意事項

- ・Mac、Linux向けクライアント用プログラムでは、オールインワンインストーラーを使用してインストールを実行する ことはできません。 Windows向けクライアント用プログラムのみ使用可能です。
- ・ESET AV REMOVER はサポート対象外です。 インストーラー作成時、 [ESET AV REMOVER を有効にする] にチェックを入れないでください。
- ・設定フォルダは必ずクライアントPC上の任意の場所にコピーしてからご使用ください。
- ・インストールを実行する際は、管理者権限のあるユーザーアカウントで実行してください。
- ・上書きインストールや組み込んだポリシーによっては、再起動が必要な場合があるのでご注意ください。
- ・以下の設定が自動的に選択されます。

ライセンス契約条項への同意・・・・受諾

ESET LiveGrid® フィードバックシステムを使用する・・・・有効

望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を許可する・・・・無効